

支店長のわがまち紹介

第1回

茨城県 北茨城市

海と山のバランスが抜群の茨城県屈指の観光のまち

北茨城市五浦岬公園より六角堂を望む

茨城県内の44の市町村を、それぞれにゆかりのある筑波銀行の営業店の支店長がご紹介していきます。初回は、茨城県の最北に位置する北茨城市です。

筑波銀行は、東日本大震災からの復旧・復興を全面的かつ継続的に支援し、地域の発展に貢献することを目的として、“地域復興支援プロジェクト『あゆみ』”のもと、6つの市及び町と「包括的提携協定」を締結しています。平成24年2月に締結した北茨城市、北茨城市観光協会、株式会社JTB関東及び筑波銀行の四者間での協定が皮切りで、それ以来、北茨城市とは観光支援を中心に、密接な関係を築いています。

磯原支店支店長の鈴木が、北茨城市環境産業部商工観光課長 赤津明男氏、観光係長 榎村義弘氏にお話を伺いました。

—北茨城市が茨城県内の他の市町村に誇れる点は何でしょうか。

海と山のバランスが良い点です。茨城県は関東平野に位置しているため、山と海が離れている市町村がほとんどですが、北茨城市は海岸近くに山が迫っており、車を30分程度走らせれば山と海を行き来することができます。

海の観光地は、五浦海岸、六角堂、大津漁港、平潟漁港、二ツ島海水浴場等です。北茨城市は海岸線にも特徴があり、神栖市から北茨城市二ツ島まで概ね直線だった海岸線が、五浦海岸や平潟港

周辺ではリアス式のように入り組みます。平潟漁港は天然の港であり、那珂湊港とともに江戸時代の「東廻り航路」の港として活用されてきました。

山の観光地の代表は花園溪谷です。溪谷の景色や空気を楽しむため、ノルディックウォーキングを提唱しています。2本のポール（ストック）を使って歩行運動を補助し、運動効果をより増強するフィットネスエクササイズの種類です。まだ広く知られていないので、北茨城からブームになることを目指しています。昨年9月にツアーを催行し、今年も10月の連休にツアーを催行する予定で



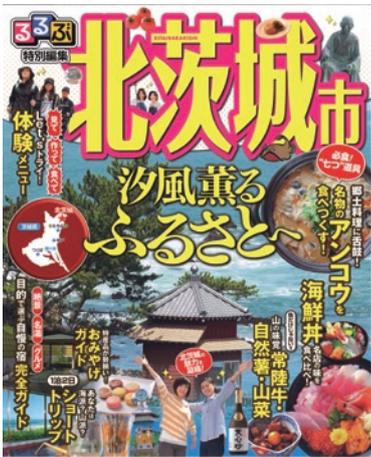
鈴木支店長

す。ノルディックウォークで山の自然に親しみ、海の温泉に泊まってもらうことで、北茨城の山と海を満喫してもらえます。

食についても、海の幸、山の幸の両方が楽しめます。海産物は、東日本大震災の原発事故の影響は残ります

が、今春からシラス漁が復活する等徐々に元に戻りつつあります。特に、冬の味覚のアンコウが有名で、アンコウ鍋は平潟港が発祥の地とされています。山の幸は「花園牛」が注目です。茨城県が誇る銘柄牛「常陸牛」のうちグレードの高い牛肉で、極めて希少価値の高いものです。

一平成24年2月に北茨城市観光協会、株式会社JTB関東、筑波銀行と四者間で震災復興に向けた包括的提携協定を結びました。協定を結んで活動を始めて1年以上経ちましたが、協定の効果は感じられますか。



特別編集する北茨城

この提携を進めてよかった点は、観光のスペシャリストであるJTBからノウハウを伝授してもらえたり、筑波銀行の組織力を活用して東北地方の他県の祭り等の観光資源の紹介や、イベント

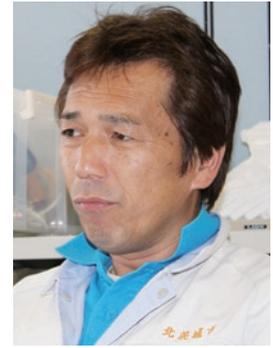
の共催等をしてもらえることです。

この提携によって実現した「特別編集する北茨城」は大反響を呼びました。また、去年は、北茨城市民夏まつりに秋田県より竿灯まつりを招待し、たくさんの人に来てもらうことができました。祭りの団体間の交流にも発展し、北茨城から現地への見学ツアーも計画されています。今年、山形県の花笠踊りを招待する予定で、竿灯まつりに

負けずとも劣らない集客を期待しています。北茨城の特産品



赤津課長



櫻村係長

を紹介する物産展等のイベントも、各地で7~8回開催しています。イベントには、筑波銀行からボランティアで多数手伝いに来てくれ、非常に一体感のある活動になっています。

一今後、筑波銀行との提携や、観光についてはどのような展望がありますか。

今後、連携を続けていくことを期待しています。筑波銀行のように、大々的にイベントを実施し、協力してくれる銀行はありませんでした。四者間協定を活用し、「安全、安心」な北茨城を効果的にPRして、まだ震災前の水準に戻っていない観光客を呼び込む活動を続けていきます。今年は映画「天心」が公開されます。五浦岬公園の対岸には撮影に使われた日本美術院研究所のオープンセットを見学することができます。北茨城の観光に追い風になると考えており、より効果的なPRを行い、より多くの人たちに北茨城に来ていただけることを願っています。



安寧と明るい未来に向けた復興の願いがこめられた北茨城の魚、アンコウのモニュメント（平潟漁港）